

龍谷顕真会会報

もくじ

竺川代表世話人挨拶	1頁
龍谷顕真会結成50周年記念式典・公開講演会	3頁
龍谷顕真会2022(令和4)年度 報告	6頁
龍谷顕真会2023(令和5)年度 報告	12頁
会員名簿	18頁
会員活動報告	19頁
事務局より	21頁



龍谷顕真会結成50周年記念式典

2024(令和6)年7月23日

龍谷顕真会結成 50 周年記念諸行事を終えて

代表世話人 竺 川 紹 隆

去る本年 7 月 23 日、標記の記念式典をご門主にご臨席いただき厳粛に執り行うことが出来ました。会員の皆様、とりわけ世話人の方々には特別なご協力をいただきました。また、総長におかれましては最後まで見届けていただき、本会の様子につき少しでもご理解いただいたものと思っております。

事務局の皆様には大変お世話になりました。

さて、このような周年行事は様々な組織や団体などが取り組んでいます。本会も過去それぞれ実施してきました。そのいずれもが「原点」に立ち返ろうとするものです。本会にとって「原点」は宗祖であることは言を俟ちません。

宗祖のお言葉の中に

大悲の願船に乗じて

光明の廣海に浮びぬれば

至徳の風静かに

衆禍の波転ず

とあります。

即ち「海」のごとく全てを受け入れ「風」のごとく全てを包み込むと受け止めることが出来る。

このことは我々会員がそれぞれの地域社会において住民からの負託を受けて地域づくりを行う上で最も大きく心しなければならない宗祖からのメッセージなのでは。

さて、私は今この稿を書いている最中、衆議院選挙の公示期間の終盤で与野党が激突している。

政権選択の選挙ということで私達、投票する側も力が入る。中でも政治資金をめぐる不透明さが大きく争点の一つであるが、投票の 4 日前になって 2 千万円問題が表面化している。

自民党は戦後、憲法改正を党是として保守合同がなされたもので、いわゆる 55 年体制である。今日の憲法改正論議とは、その内容が随分違っている。

長い間、大方の期間与党であったが憲法改正はそのための発議すらもなされていない。

敗戦下において「おしつけ憲法」ではなしに、自主憲法をということから独立国としての物差しをという考え方のようだが、現行憲法で 70 数年の間、徹底した国民主権や平和主義、基本的人権の尊重を基調しており、その崇高な理念は近年ノーベル賞にノミネートされることもある。

どうしても改正しなければならないのか。

ここまで書き進んだ所で選挙は終った。与党が過半数を割り込んだ。

その結果、今まででは与党で合意すればほとんどのことがフリーパスであったが、これからはそうはいかなくなってしまった。テーマごとに各党に相談しなくてはならなくなってしまった。

選挙民の素晴らしいバランス感覚の結果がこの様な状況を生んだのである。政治資金改正法の再改正の問題や旧文通費廃止のことなど、各種様々なテーマもそれぞれ前進を見るであろう。

私は私共の法人にいる職員の皆さんにいつも選挙前になると投票を呼び掛けるが、その際、与野党の状況をよく見てバランス感覚を働かせるようにということを付け加える。

私は若い頃、宗会の関係者から国会の仕組みはそのモデルが宗会なんだと聞いたことを記憶している。なるほど、よく似ているかも。「宗政」という名の政治があるようだ。

ところで宗会の場合、政治資金はどういうに調達していたのだろう。当時、様々な話を側聞したが、まず議員になるための選挙に冷蔵庫が飛んでいたことを聞いたこともあった。丁度、高度経済成長期で「ホワイト家電」と呼ばれていた時代だ。

現在では宗派は機構改革が行われ、宗会は会社法人における株主総会か、評議員会のような位置付けがなされている。「進化」と言うべきであろう。

最後に私事だが、私には3人の孫がいる。それぞれが生まれた時、その命名を上から「大海」、「海里」、「海」と名付けた。もちろん両親がそうしたのだ。

また、15年前「待機児童」という言葉が毎日のように使われていた頃、新たに保育園を開設した。その際、その園名を「うみかぜ保育園」とした。

私は龍谷顕真会の発足頭初からこの50年間、何らかの形で関わって来た。年齢も重ねて、80代となってきた。今しばらくここにこだわってみたいと思う。

この稿を書き終える頃、米国の大統領にトランプ氏が当選した。

ワシントンのことをポンド(沼・ぬま)とその世界では言うそうだ。

2024年11月7日



龍谷顕真会 結成 50 周年 記念式典・記念公開講演会・懇親会 開催報告書

1. 日 時 2024 (令和 6) 年 7 月 23 日 (火)

記念式典：14：45～15：10

公開講座：15：45～17：15

懇 親 会：18：00～19：30

2. 会 場 記念式典：本願寺阿弥陀堂

記念撮影：本願寺阿弥陀堂向拝

公開講座：聞法会館 3 階 多目的ホール

懇 親 会：京都東急ホテル 1 階 鞍馬

3. 出席者 記念式典・記念撮影には、ご門主様ご臨席、荻野総長同席

懇親会には、荻野総長出席

代表世話人 竹川 紹 隆

世 話 人 松 山 教 宗 山 本 隆 俊 藤 谷 光 信

島 田 教 明 松 月 よし子

会 員 亀 井 義 昭 常 盤 繁 範 大 塚 泰 雄

波 多 正 文 谷 川 正 秀 荒 木 行 也

元 会 員 米 沢 痴 達

同 伴 者 大 塚 瑠 璃 子 竹 川 久 枝 竹 川 大 海

藤 谷 允 子

<教区順>

事 務 局 中 井 真 人 (事務局長)

渡 邊 弘 文 大 下 真 史 有 馬 夏 海

4. 内 容

《結成 50 周年記念式典》 14：45～15：10

会 場 本願寺阿弥陀堂

内 容

- 開式の辞
- 勤行「讚仏偈」(調声：本願寺式務部)
- 代表世話人挨拶
- 閉式の辞

出席者 13名 (会員 11名・元会員 1名・同伴者 2名)

※ご門主様ご臨席、総長同席、講師出席

参加費 1万円 (懇親会参加費込み)

《記念撮影》 記念式典に引き続き

会 場 本願寺阿弥陀堂向拝

※ご門主様ご臨席、総長同席、講師同席

《50周年記念公開講演会》 15：45～17：15

会 場 聞法会館 3階 多目的ホール

講 師 釈 徹宗 氏 (相愛大学学長：大阪教区豊島北組如來寺住職)

講 題 「現代社会と宗教」

出席者 約 80 名

(1)現 地 参 加 者：49名 (会員 12・元会員 1、同伴者 2、一般 34)

(2)オンライン参加：29 アクセス (視聴回数 39 回 <のべ回数>)

※オンラインによる参加希望者総人数は 34 名 (1 アクセスでの複数
人による視聴希望者含む)

《懇親会》 18：00～19：30

会 場 京都東急ホテル 1階 「鞍馬」 (下京区堀川通り五条下ル TEL075-341-2411)

内 容

- ・開会の辞
- ・世話人挨拶 (山本隆俊氏)
- ・乾杯 (荻野昭裕総長)
- ・歓談
- ・結成 50周年記念事業担当世話人挨拶 (松山教宗氏)
- ・閉会の辞

出席者 20名 (会員 9・元会員 1、荻野総長、釋講師、同伴者 4、事務局長、事務局員 3)

5. その他

《記念輪袈裟の調製について》

購入希望数：33 領 <1 領 : 30,000 円>

薄茶色金通 雲に龍文様、「龍谷顕真会」の白糸刺繡、「結成 50周年記念」の
黒文字押印

当日手交数：13 領 <購入希望者の内、当日ご欠席の方には後日送付>

※今後は、当会会員輪袈裟として使用予定

《協賛金について》

計 22 名から合計 42 口の 210,000 円のご協賛をいただきました。ありがとうございました。

以 上

龍谷顕真会 令和6年度総会・結成50周年記念式典等収支報告書

日 時 : 2024(令和6)年7月23日(火) 13時～
 場 所 : 【総会】 聞法会館 3階 研修室 1
 【記念式典】 阿弥陀堂
 【記念講演会】 聞法会館 3階 多目的ホール
 【懇親会】 京都東急ホテル

◆歳入			
(1) 宗派よりの助成金			500,000 円
① 助成金収入	500,000	助成金	宗派
(2) 記念式典関係費			170,000 円
① 参加収入	170,000	行事参加費 (@10,000×17名)	会員等
(3) 記念輪袈裟販売料			960,000 円
① 販売収入	960,000	記念輪袈裟 (@30,000×32領)	会員等
(4) 結成50周年記念行事協賛金			235,000 円
① 協賛金収入	235,000	協賛金 (1口@5,000×47口)	会員等
■歳入合計			1,865,000 円

◆歳出			
(1) 記念式典関係費			18,810 円
① 記念写真代	18,810	集合写真 : @990×19枚	(株)コロナ
(2) 記念講演会関係費			300,520 円
① 講師謝礼	110,000	講師謝礼 (交通費含む)	釋 徹宗
② オンライン中継費	79,200	中継経費	藤谷総合産業
③ チラシ調製費	111,320	講演会チラシ作成費 (@9.2×11,000枚) ※案内チラシは、宗派組定期便をもって全寺院へ発送	(株)アースワーク
(3) 懇親会関係費			159,990 円
① 懇親会費	158,800	会食代 (17名分) <総長・記念講演講師等含む>	京都東急ホテル
	1,190	会場サービス料・消費税	
(4) 諸費			8,990 円
① 諸費	4,590	出席者飲み物代	セラーズたかぎ
	4,400	記念輪袈裟用ゴム印「結成五十周年記念」	第一印房
(5) 記念輪袈裟調製費			856,680 円
① 調製費	778,800	記念輪袈裟調製費 (@25,960×30領)	(株)川勝法衣店
	77,880	記念輪袈裟追加分調製費 (@25,960×3領)	
■歳出合計			1,344,990 円

※ 差額(520,010円)につきましては、龍谷顕真会運営費として使用いたします。

2022(令和4)年度 龍谷顕真会活動報告

1. 活動方針

当会の目的を達成するため、次の事業を行う

- (1) 宗門の社会的実践活動への参加に関するこ
- (2) 研修会の開催に関するこ
- (3) 築地聞真会等関係団体との交流提携に関するこ
- (4) 会員相互の親睦と連絡に関するこ
- (5) 会員増員に関するこ

2. 活動項目

- (1) 世話人会の開催
- (2) 「総会」、「宗務懇談会」及び「公開講演会」の開催
- (3) 千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要、御正忌報恩講法要参拝
- (4) 「龍谷顕真会会報」の発行
- (5) 龍谷顕真会結成50周年に向けた取り組み
- (6) 新規会員の入会奨励
- (7) ホームページの運営
- (8) 『浄土真宗のみ教え』の普及について
- (9) 親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要への参拝奨励

3. 活動内容

(1) 世話人会の開催

<第1回> 日時：2022(令和4)年5月21日(土)

報告事項 会員動静について

協議内容 ①2021(令和3)年度活動報告・歳計決算報告について
②2022(令和4)年度活動計画・歳計予算(案)について
③役員改選について

<第2回> 日時：2022(令和4)年12月21日(水)

報告事項 (1)2022(令和4)年度活動中間報告・歳計現況報告について

協議事項 (1)2023(令和5)年度活動内容について

①総会開催時期について
②国内研修について
③2024(令和6)年結成50周年記念事業について
④その他

(2) 「総会」及び「宗務懇談会」の開催

<総会>

日 時：2022(令和4)年5月21日(土) 13時～

会 場：聞法会館3階 研修室1

内 容：【報告事項】会員の動静について

- 【審議事項】①2021（令和3）年度活動報告
- ②2021（令和3）年度歳計決算
- ③2022（令和4）年度活動計画(案)
- ④2022（令和4）年度歳計予算(案)
- ⑤役員改選について

<宗務懇談会>

日 時：2022（令和4）年5月21日（土）14時15分～
会 場：聞法会館3階 研修室2
内 容：「2022（令和4）年度の宗務の基本方針について」

<公開講演会の開催>

日 時：2022（令和4）年5月21日（土）15時～
※総会終了後（講演時間：約60分〈質疑応答含〉）
会 場：聞法会館3階 研修室1
講 師：赤松徹眞氏（本願寺史料研究所所長）
講 題：「親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要をお迎えするにあたつて」—阿弥陀堂内陣修復—

- (3) 千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要について、新型コロナウイルス感染拡大の状況に鑑み、各法要来賓案内は取りやめ。降誕会、御正忌報恩講については、案内実施（御正忌報恩講は、1月15日（日）に案内を実施）
- (4) 「龍谷顕真会会報」第40号の発行
国内研修の見送りなどに伴い掲載内容が減少したため、休刊となった。
- (5) 龍谷顕真会結成50周年に向けた取り組み
2024（令和6）年度は龍谷顕真会結成50周年であることから、記念事業を計画するため、第2回世話人会にて協議の結果、松山世話人を相談役として事務局と記念事業について協議を進めている。
- (6) 新規会員の入会奨励
会員及び事務局より入会奨励を行う。
奨励のため、龍谷顕真会ホームページに新規入会希望者用ページを新設
- (7) ホームページの内容更新
- (8) 『浄土真宗のみ教え』の普及について
- (9) 親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要への参拝奨励

以 上

2022（令和4）年度 龍谷顕真会 総会・宗務懇談会・公開講演会 報告書

【総会】

1. 日 時 2022（令和4）年5月21日（土） 13:00～14:15
2. 会 場 聞法会館3階 研修室①
3. 出席者 代表世話人 竹川紹隆
世話人 谷口隆徳 山本隆俊 藤谷光信
会員 松山教宗 大塚泰雄 荒木行也
<教区順>
事務局 中井真人（事務局長）
白石光祐 河野沙慧

4. 総会内容

- (1) 報告事項 ①会員動静について
- (2) 審議事項 ①2021（令和3）年度活動報告について
②2021（令和3）年度歳計決算について
③2022（令和4）年度活動計画について
④2022（令和4）年度歳計予算について
⑤役員改選
⑥その他

《開会式》

- (1) 開式の辞
- (2) 勤行『讃仏偈』（調声：山本隆俊 世話人）
- (3) 代表世話人挨拶（竹川紹隆 代表世話人）
- (4) 総長挨拶（池田行信 総務）

《永年勤続表彰式》

勤続30年表彰 ※欠席のため報告

波多正文（尼崎市議会議員 兵庫教区阪神南組正光寺住職）

勤続20年表彰

谷口隆徳（元士別市議会議員 北海道教区上川北組常徳寺住職）

勤続15年表彰 ※欠席のため報告

岩本誠生（本山町議会議員 四州教区高知北組西光寺住職）

唯有幸明（国東市議会議員 大分教区国東中組妙光寺住職）

勤続10年表彰 ※欠席のため報告

島田教明（山口県議会議員 山口教区防府組善正寺住職）

《総会》

- (1)事務局長挨拶
- (2)議長選出
 - ・竺川紹隆代表世話を議長として選出
- (3)議長挨拶
- (4)配布資料の確認
- (5)出欠報告（会員27名中 出席者：7名・委任状16名）

《議案審議内容》

(1) 報告事項

①会員の動静について

事務局より、大來尚順氏（山口市議会議員 山口教区防府組超勝寺住職）の入会と、櫻田正弘氏（元北見市議会議員 北海道教区北見東組本覚寺衆徒）弘中正俊氏（元防府市議会議員 山口教区防府組乗円寺前住職）、秋里勝道氏（元美東町議会議員 山口教区美祢東組明楽寺前住職）の3名が退会した旨を報告した。

(2) 審議事項

- ①2021（令和3）年度活動報告
- ②2021（令和3）年度歳計決算

上記2事項を一括して事務局より説明を行った。

採決の結果、全会一致で可決された。

- ③2022（令和4）年度活動計画
- ④2022（令和4）年度歳計予算

上記2事項を一括して事務局より説明を行った。

出席者より、以下4件の意見があった。

○国内研修について

→宗派の現状を鑑みて実行できるようなら、事務局より早め早めに会員に対して呼びかけを行う。

○龍谷顕真会50周年を記念して記念輪袈裟をつくってはどうか

→事務局で協議してデザイン等検討する。

○会員とのコミュニケーションをはかるため、千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要や御正忌報恩講法要の参拝を呼び掛けてほしい。

→現在事務局では、宗祖降誕会と御正忌報恩講法要においてはハガキでご案内を送っているが、千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要に関してもこちらから公文書等送るよう検討する。

○世話を比率を現職が過半数になるようにしていく

また、上記審議事項について採決の結果、全会一致で可決された。

【宗務懇談会】

1. 日 時 2022（令和 4）年 5 月 21 日（土） 14：30～15：00
2. 会 場 聞法会館 3 階 研修室②
3. 宗派出席者 弘中貴之 副総務、中井真人 所務部長（事務局長）
4. 内 容 2022（令和 4）年宗務の基本方針について（約 30 分）

【公開講演会】

1. 日 時 2022（令和 4）年 5 月 21 日（土） 16：15～17：00
2. 会 場 聞法会館 3 階 研修室①
3. 講 師 赤松徹眞氏（本願寺史料研究所所長）
4. 講 題 「親鸞聖人御誕生 850 年・立教開宗 800 年慶讃法要をお迎えするにあたって－阿弥陀堂内陣修復－」
5. 参加者 21 名
(一般 6 名、会員 7 名、講演スタッフ 1 名、宗務所員 3 名、事務局 2 名、記者 2 名)

以 上

報告者：龍谷顕真会事務局員（所務部＜文書担当＞書記） 河野沙慧

2022(令和4)年度 龍谷顕真会 歳計決算書

(歳 入)

費 目		決 算 額	予 算 額	対比 △減	備 考	
1	宗 派 助 成 金	0	0	0		
2	会 費	66,000	111,000	△ 45,000	1 年会費 2 過年度分	60,000 6,000
3	行 事 参 加 費	0	1,020,000	△ 1,020,000	1 国内研修参加費 2 懇親会費	0 0
4	繰 越 金	1,385,592	1,385,592	0		
5	雑 収 入	9	3,408	△ 3,399	預金利息	
歳 入 合 計		1,451,601	2,520,000	△ 1,068,399		

(歳 出)

費 目		決 算 額	予 算 額	対比※超過	備 考	
1	事 業 費	682,438	1,850,000	1,167,562	会議等開催経費 国内研修費 会報誌発行費 音声起稿経費	666,730 0 0 15,708
2	慶弔 費	7,216	30,000	22,784	慶弔関係費(祝電2件)	
3	事 務 費	20,438	80,000	59,562	通信費等	
4	ホーメーページ関係費	75,240	90,000	14,760	ホームページ管理・更新費	
5	予 備 費	0	470,000	470,000		
歳 出 合 計		785,332	2,520,000	1,734,668		

歳入合計	1,451,601
歳出合計	785,332
差引額	666,269

※差引余剰金は2023(令和5)年度へ繰り越し

2023(令和5)年度 龍谷顕真会活動報告

1. 活動方針

当会の目的を達成するため、次の事業を行う

- (1) 宗門の社会的実践活動への参加に関するこ
- (2) 研修会の開催に関するこ
- (3) 築地聞真会等関係団体との交流提携に関するこ
- (4) 会員相互の親睦と連絡に関するこ
- (5) 会員増員に関するこ

2. 活動項目

- (1) 世話人会の開催
- (2) 「総会」、「宗務懇談会」及び「公開講演会」の開催
- (3) 千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要、御正忌報恩講法要参拝
- (4) 「龍谷顕真会会報」の発行
- (5) ホームページの運営
- (6) 新規会員の入会奨励
- (7) 新しい『領解文』(浄土真宗のみ教え) の普及について
- (8) 親鸞聖人御誕生 850 年・立教開宗 800 年慶讃法要への参拝奨励
- (9) 2024(令和 6)年度 結成 50 周年記念事業の推進

3. 活動内容

(1) 世話人会の開催

<第1回> 日時：2023(令和5)年8月28日(月)

報告事項 会員動静について

協議内容 (1) 2022(令和4)年度活動報告・歳計決算報告について
(2) 2023(令和5)年度活動計画・歳計予算(案)について

<第2回> 日時：2024(令和6)年2月5日(月)

報告事項 2023(令和5)年度活動中間報告・歳計現況報告について

協議事項 2024(令和6)年度活動内容について

- ①総会開催時期について
- ②国内研修について
- ③2024(令和6)年結成 50 周年記念事業について
- ④その他

(2) 「総会」及び「宗務懇談会」の開催

<総会>

日 時：2023(令和5)年8月28日(月) 13時30分～

会 場：聞法会館 3 階 研修室 2

内 容：【報告事項】会員の動静について

【審議事項】(1) 2022(令和4)年度活動報告

- (2) 2022(令和4) 年度歳計決算
- (3) 2023(令和5) 年度活動計画(案)
- (4) 2023(令和5) 年度歳計予算(案)

(3) 公開講演会の開催

日 時：2023(令和5) 年 8 月 28 日(月) 15 時～
講演時間：70 分 <質疑応答含>
会 場：聞法会館 3 階 研修室 2
講 師：長谷川正浩氏(全日本仏教会顧問弁護士)
講 題：「旧統一教会問題を通して改めて我々が考えること」

(4) 国内研修の開催

11 月中に北海道小樽市・余市町にて開催を計画していたが、第1回世話人会及び総会での審議に基づき、見送りとした。

(5) 千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要、御正忌報恩講参拝

千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要については、法要修行規模縮小に伴い来賓案内も同様に絞られたため参拝案内なし。御正忌報恩講については、1月 15 日(日)に案内を実施。

(6) 「龍谷顕真会会報」の発行

会報については、HPに掲載する方法へ移行、また、過去の会報を掲載するページを設けて公開を行う準備を進めた。

(7) ホームページの内容更新

(8) 新規会員の入会奨励

会員及び事務局より入会奨励を行う。(2023 年度中に 2 名の新規入会者あり)
<奨励のため、当会ホームページに新規入会希望者用ページを昨年度末に新設>

(9) 新しい「領解文」(浄土真宗のみ教え) の普及について

(10) 結成 50 周年記念事業に伴う準備について

結成 50 周年記念行事実施日について、ご門主さまのご臨席を希望する旨、内事部に通知し、ご門主さまのお日取り調整ができたため、7 月 23 日に開催することとなった。

記念事業として会員輪袈裟の調製。また、記念講演の講師については、釋徹宗氏に依頼。

以 上

2023（令和5）年度 龍谷顕真会 総会・公開講演会 報告書

【総会】

1. 日 時 2023（令和5）年8月28日（月） 13：30～14：45
2. 会 場 聞法会館3階 研修室②
3. 出席者 代表世話人 竹川紹隆
世話人 松山教宗 山本隆俊 藤谷光信
島田教明
会員 福井学 波多正文 荒木行也
<教区順>
事務局 中井真人（事務局長） 大下眞史

4. 総会内容

- (1) 報告事項 ①会員動静について
- (2) 審議事項 ①2022（令和4）年度活動報告について
②2022（令和4）年度歳計決算について
③2023（令和5）年度活動計画について
④2023（令和5）年度歳計予算について
⑤その他

《開会式》

- (1) 開式の辞
- (2) 勤行『讃仏偈』（調声：山本隆俊 世話人）
- (3) 代表世話人挨拶（竹川紹隆 代表世話人）
- (4) 総長挨拶（池田行信 総長）

《永年勤続表彰式》

勤続20年表彰 ※欠席につき、報告
芳滝仁（幕別町議会議員 北海道教区十勝組顕勝寺住職）
大前寛乗（坂出市議会議員 四州教区飯山北組善光寺住職）

《総会》

- (1) 事務局長挨拶
- (2) 議長選出 <竹川紹隆代表世話人を議長として選出>
- (3) 議長挨拶
- (4) 配布資料の確認
- (5) 出欠報告（会員27名中 出席者：8名・委任状13名）

《議案審議内容》

(1) 報告事項

①会員の動静について

事務局より、福井学氏(吉見町議会議員 東京教区埼玉組淨泉寺住職)の入会と、三浦保法氏(元浜田市議会議員 山陰教区三隅組常福寺前住職)の退会、また総会案内の返答に合わせ、柴田薰心氏(元札幌市議会議員 北海道教区札幌組宝流寺前住職)、谷口隆徳氏(元士別長議会議員 北海道教区上川北組常德寺住職)の2名が退会を希望されている旨、報告した。なお、退会希望者2名については、総会終了後、退会にかかる事務処理を行うこととする。

(2) 審議事項

①2022(令和4)年度活動報告

②2022(令和4)年度歳計決算

上記2事項を一括して事務局より説明を行った。

採決の結果、全会一致で可決された。

③2023(令和5)年度活動計画案

④2023(令和5)年度歳計予算案

上記2事項を一括して事務局より説明を行った。

出席者より、以下の通り意見があった。

○国内研修については、新型コロナウイルス感染症も昨今増加傾向にあること、大火災で被害を受けたハワイ・マウイ島へ慰問のための海外研修として3年先頃を視野に来訪できるよう、見送りにしてはどうか。

→本年の国内研修については、見送りとする。

○龍谷顕真会結成50周年の記念行事については、一人でも多く参加してもらえるように、準備を進めてほしい。

→世話人会と事務局にて準備を進める。

(3) その他

①結成50周年記念事業について

現在、松山世話人を中心企画を進めており、その内容を世話人会にて協議のうえ、別途、その結果を報告する旨、説明した。

②ハワイ・マウイ島大規模火災災害義援金募集について

現在、宗派において義援金の募集が始まっているため、関係資料として募集要項と本願寺新報9月1日号を配布。議長(笠川代表)より本会の方針として、会員宛てに協力依頼を行うよう呼びかけを行うこととなった。

上記審議事項について採決の結果、全会一致で可決された。

【公開講演会】

1. 日 時 2023（令和5）年8月28日（月）15：00～16：20
2. 会 場 聞法会館3階 研修室②
3. 講 師 長谷川正浩 氏（全日本仏教会顧問弁護士）
4. 講 題 旧統一教会問題を通して、改めて我々が考えること
5. 参加者 10名
(会員6名、一般1名、宗務所員1名、事務局1名、記者1名)

以 上

報告者：龍谷顕真会事務局員（所務部<文書担当>）大下眞史

2023(令和5)年度 龍谷顕真会 歳計決算書

(歳 入)

費 目		決 算 額	予 算 額	対比 △減	備 考	
1	宗 派 助 成 金	100,000	100,000	0		
2	会 費	87,000	123,000	△ 36,000	1 年会費 2 過年度分	66,000 21,000
3	行 事 参 加 費	0	1,300,000	△ 1,300,000	1 国内研修参加費 2 懇親会費	0 0
4	繰 越 金	666,269	666,269	0		
5	雑 収 入	3	2,731	△ 2,728	預金利息	
歳 入 合 計		853,272	2,192,000	△ 1,338,728		

(歳 出)

費 目		決 算 額	予 算 額	対比※超過	備 考	
1	事 業 費	578,138	1,970,000	1,391,862	会議等開催経費 国内研修費 会報誌発行費	578,138 0 0
2	慶弔 費	16,256	20,000	3,744	慶弔関係費(祝電 4件)	
3	事 務 費	30,582	80,000	49,418	通信費等	
4	ホーメージ関係費	57,090	80,000	22,910	ホームページ管理・更新費	
5	予 備 費	0	42,000	42,000		
歳 出 合 計		682,066	2,192,000	1,509,934		

歳入合計	853,272
歳出合計	682,066
差引額	171,206

※差引余剰金は2024(令和6)年度へ繰り越し

龍谷顯真会会員名簿

2025(令和7)年3月31日現在

No.	氏名	役職名	教区	組	寺号	職分	会役職
1	松山教宗	美唄市議	北海道	空知南	法王寺	住職	世話人
2	渡辺倫代	妹背牛町議	北海道	空知北	法忍寺	前坊守	
3	亀井義昭	元中川町長	北海道	上川北	極楽寺	住職	
4	常盤繁範	河合町議	東北	宮城	順忍寺	衆徒	
5	志茂田玲	練馬区議	東京	芝	光明寺	衆徒	
6	福井学	吉見町議	東京	埼玉	淨泉寺	住職	
7	大塚泰雄	元高島市議	滋賀	高島	通安寺	前住職	監査
8	山本隆俊	元茨木市議	大阪	茨木東	称名寺	住職	世話人
9	波多正文	尼崎市議	兵庫	阪神南	正光寺	住職	
10	谷川正秀	元尼崎市議	兵庫	阪神西	万徳寺	住職	
11	竺川紹隆	元金城町議	山陰	浜田	淨光寺	前住職	代表世話人
12	大前寛乗	坂出市議	四州	飯山北	善光寺	住職	世話人
13	岩本誠生	本山町議	四州	高知北	西光寺	住職	
14	田渕信量	室戸市議	四州	安芸	無量寺	住職	
15	上野寛治	広島県議	安芸	山県太田	萬福寺	副住職	
16	藤谷光信	元山口県議 (元参議院議員)	山口	岩国	教蓮寺	前住職	世話人
17	島田教明	山口県議	山口	防府	善正寺	住職	世話人
18	大來尚順	山口市議	山口	防府	超勝寺	住職	
19	井上隆純	元下関市議	山口	豊浦西	正音寺	住職	
20	松月よし子	糸島市議	福岡	志摩	海徳寺	前坊守	世話人
21	荒木行也	元みやま市議	福岡	三門南	阿彌陀寺	前住職	監査
22	高原隆則	元那珂川市議	福岡	那珂	教徳寺	住職	
23	佐藤哲紹	元湯布院町長	大分	由布院	長因寺	住職	
24	唯有幸明	国東市議	大分	国東中	妙光寺	住職	
25	佐々木一法	元五和町議	熊本	天草下	西明寺	住職	

※本会役職者は、本表右側に記載

◆◆◆会員活動報告◆◆◆

活動報告内容(現職会員)

- ①議会役職
- ②所属委員会および役職
- ③地域団体役職
- ④所属党派・役職
- ⑤取り組みについて
- ⑥その他

経歴者活動報告

- ①それぞれの立場で取り組まれている地域活動
- ②その他

福井 学 吉見町議 【東京教区・埼玉組・淨泉寺・住職】

- ①吉見町議
- ②文教生活常任委員会、議会だより編集特別委員会
副委員長、吉見町下水道事業審議会
- ④無所属
- ⑤議員として臨んだ最初の一年間、決算と予算審議を通じて、地域が抱える課題解決に微力ながら参加したもの、課題の多さを痛感。少子化と高齢化を主因とする地域社会の変化に対しては、今後も必要な時期に必要な施策を講じていかねばならないとの思いを強く持っている。すべての施策がいまの住民にとって、かつ未来の住民にとって有益なものとして届くことを目標に、精進してまいりたい。
- ⑥岸田政権は27年度の防衛費を、国内総生産GDP比2%にすることを決めています。世界全体のGDPに占める日本のGDPは減少の一途を辿っており、現在世界4位、50年に6位、75年には12位へ転落することが予想されていることから、軍事化への懸念だけでなく、落ち行く国力によそ見合わない資金投入により基本的人権がないがしろにされる状況がうまれつつあります。日本国憲法25条生存権は国民の生命を守る義務を国に負わせるもので、国が負うべき義務を放棄させてはなりません。宗派として現状を是非重く受け止め、平和と基本的人権を守るよう、築地闇真会などを通じ、国に強く求めていただきたいと思います。人を育てる教団になってほしい。龍谷顕真会がその提言となるような役割を担っていきたい。
- ⑤県、農業の知と技の拠点整備事業の実現本社機能を持った企業の誘致などに取り組む。

上野 寛治 広島県議 【安芸教区・山県太田組・萬福寺・副住職】

- ①広島県議
- ②警察・商工労働委員会委員
- ⑤議員2年目としてより地域のきめ細かい要望に耳を傾けていきたいと思います。現場主義として今後も歩いて声を聞いていきます。

松月よし子 糸島市議 【福岡教区・志摩組・海徳寺・前坊守】

- ①議会運営委員会副委員長
- ②市民福祉常任委員会委員長
- ③道路改良事業促進期成会会长、志摩望東会会长、糸島の福祉を語る会副会長、保護司志摩支部長、志摩男女共同参画 in W 顧問
- ⑤市民福祉の向上を目指す

事務局よりのお知らせ

会費納入のご依頼について

〈年会費 5,000円〉

会費未納の方は、事務局までご連絡の上、ご納入くださいますようお願いいたします。ご不明な点がございましたら、事務局までご連絡ください。

新会員勧誘のお願い

地方自治体の首長・議員に公選された宗派の僧侶の方で、本会に未加入の方をご存知でしたら、加入ご推奨いただくとともに、事務局までご連絡ください。

公職選挙宗門推薦について

今後、選挙の施行があり立候補を予定されている方は、宗門推薦をいたしますので事務局までご連絡ください。

2025(令和7)年度 龍谷顕真会 総会 開催について

期 日：2025(令和7)年5月21日(水)

会 場：伝道本部3階 大会議室

※詳細につきましては、後日お届けするご案内状にてお知らせいたします。

『龍谷顕真会会報』（第40・41・42合併号）2025(令和7)年3月発行

【編集・発行】 龍谷顕真会事務局

600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル

浄土真宗本願寺派宗務所 所務部〈文書担当〉内

電話(075)371-5181(代)